

親子の物語が、そしてひとりのコーダの心の軌跡が、点描のように紡がれていく——。監督は、本作が9年ぶりの長編作品となる、『そのみにて光輝く』『きみはいい子』の呉美保。作家・五十嵐大氏の自伝的エッセイを原作に、脚本は『正欲』の港岳彦。吉沢亮が、“きこえる世界”と“きこえない世界”を行き来しながら生きる主人公を体現、自身の居場所を見出していく若者の心を繊細に演じた。母・明子役には、ろう者俳優として活躍する忍足亜希子。

やがて母への想いが観る者の胸にも静かに温かく満ちていく、心に響く映画が誕生した。



## 母と息子、切なくも心に響く家族の物語

Story

宮城県の小さな港町、五十嵐家に男の子が生まれた。祖父母、両親は、“大”と名付けて誕生を喜ぶ。ほかの家庭と少しだけ違っていたのは、両親の耳がきこえないこと。幼い大に

っては、大好きな母の“通訳”をすることも“ふつう”の楽しい日常だった。しかし次第に、周りから特別視されることに戸惑い、苛立ち、母の明るささえ疎ましくなる。心を持って余したまま20歳になり、逃げるように東京へ旅立つ大だったが……。



映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」熊本市上映会  
全編字幕付きバリアフリー上映

バリアフリーアプリにも  
対応しています。



日時 **2026年2月27日(金)**

会場 **熊本市男女共同参画センター  
はあもにい メインホール**

熊本市中央区黒髪3-3-10 TEL096-345-2550

① **14:00～** ② **19:00～**

各30分前開場  
上映時間105分

【入場料】※未就学児は無料

◎前売券1,300円 (一般・シニア・大学生)  
◎当日券1,500円 (一般・シニア・大学生)  
800円 (小中高生)

【お問い合わせ】

(一財) 熊本県ろう者福祉協会  
TEL 096-383-5587  
南九州配給委員会  
TEL090-7397-0601

【共催】(一財)熊本県ろう協福祉協会高齢部・女性部・青年部、熊本県ろう者交通安全協会

【後援】・熊本市・熊本市教育委員会・熊本日日新聞社・熊本市社会福祉協議会  
・熊本県手話サークル「わかぎ」・熊本県手話通訳問題研究会